

令和5年3月13日

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 国本学園
国本幼稚園

1 本園の教育目標

- ①朝礼を通して、人への思いやりや礼儀を大切にする心（くにもとさほう）
- ②健康な体づくりと安全な園生活を過ごす
- ③日常保育生活の中で、友達と楽しく遊び、協力する社会性を身につける
- ④自分から興味関心を持ち、物事に取り組み、よく考え、工夫し、表現する力を身につける
- ⑤集団生活の中で経験する心の葛藤を通して、忍耐力、我慢強さ、妥協することの大切さを知る
- ⑥園外保育や農園体験を通して自然に親しみ、感動する心を育てる
- ⑦子ども自ら主体的に行動できるように保育環境を整え、健全な成長の支えとなる援助をする

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

安心、安全な幼稚園と信頼され、丁寧な保育を目指す。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

| | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|---|---|----|--|
| 1 | 保護者とのつながりを大切にし、子どもたちの成長や課題を共通に認識していく。 | B | ホームページを一新し、「くにもと diary」や学年ごとの保護者閲覧ページを作り、画像等を通して、子どもたちの成長や幼稚園での出来事をこまめに更新し伝えている。また、幼稚園で経験した内容を動画や写真で保護者に紹介し、家庭でも実践できるように伝えている。 |
| 2 | 積極的に研修を受講し、教育の質向上に努める。受講した内容を教員間で伝えあい、そこでの学びを広めていく。 | B | 夏休みに積極的に外部研修を受講した。また、園内研修もテーマを決めて毎月行い、保育者のスキルアップと問題意識の共有を図り子どもたちのより良い育ちに繋げていく。 |
| 3 | 英語活動を通し異文化に触れ、国際感覚を養い、コミュニケーション能力を高めていく。 | C | ネイティブ講師によって英語の歌やダンス、ゲームなどを取り入れ、英語に触れている。昨年度より回数を増やし慣れ親しんでいる。 |

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

4 総合的な評価結果

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| B | <p>ホームページを一新し、保護者のみ閲覧可能な学年のページと、広く閲覧できる「くにもとdiary」をつくり、従来できなかった写真や動画を用いて具体的な保育の様子を家庭に伝えた点は、文字や絵だけではわからない点も伝えられたので良かった。</p> <p>保護者からも好評で丁寧な保育の実践につながった。一方、周知が不足しページの存在を知らない保護者がいたほか、更新間隔が開く反省点もあった。</p> <p>しかし、そのマイナス面以上に新しいことを発信できたという評価が大きかった。</p> <p>評価項目2の積極的な研修受講については、外部研修は新しい知識の習得、内部研修については他の保育者の良い点の吸収などのメリットがあり、学んだ内容を共有し、保育に実践できる利点があり、積極的な研修の受講、実施は教員のスキルアップにつながっているとしてほとんどの教員が成果と認識した。</p> <p>評価項目3の英語保育については、ネイティブの先生に対する園児、教員双方の評価が高かったが、質・量とも改善・工夫が必要であると多くの教員が認識していた。</p> <p>以上を総合した結果、改善が必要な点はあるが、総じて成果があったと評価した。</p> |

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

5 今後取り組む課題

| | 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|---|--------------|----------------------------------|
| 1 | 保育内容の家庭との共有化 | HPの閲覧方法の改善、更新頻度の増加、保護者への周知方法の改善 |
| 2 | 参加保育の復活 | 朝の会や幼稚園行事を活用した保護者の保育への参加 |
| 3 | 英語保育の充実 | 時間の拡大、教員の確保、保育時間以外に英語に触れる取り組みの工夫 |

6 学校関係者評価委員会の評価

全体的に幼稚園の自己評価は辛口だが、次の課題も見据え、更に良くしていこうとの気持ちからの評価だと思っている。

ホームページを一新し、保育内容をある程度見える化して保護者に伝えたことは、保護者にとってもありがたいことであり、保護者と幼稚園のつながりを深める点でも非常に良い取り組みだと思う。今年度の反省点を踏まえた取り組みを来年度行うとの事なので、より丁寧な保育につながると期待している。

幼稚園の先生が夏休みに16時間も外部研修を受講し、スキルアップに努めていることを今回初めて知った。先生たちが努力して時間を作り、自己研鑽している姿勢は称賛したい。その結果、園児、保護者、教員の3者に良い結果をもたらしているのであれば、A評価でいいのではないか。

英語保育については、コロナ禍の影響もあり、それに充てる時間が不足したことは仕方ない。取り組んでいること自体は良いことなので、今後の展望を見つけたという点で良いスタートになったととらえ、来年度以降評価が上がるよう、頑張ってもらいたい。

来年度取り組む予定という参加保育については、興味深い取組みで、今後期待している。